

## 法吉地区の「災害時における地域での助け合い」について

松江市法吉公民館

### 1 事業の概要

#### (1) はじめに

この事業は、平成17・18年度に松江市地域福祉ステーション事業のモデル指定を受けて取り組みを始め、現在は公民館と地区社会福祉協議会が中心になって定着化を進めている。

#### (2) 概要

近年、地震、台風、集中豪雨といった自然災害が各地で発生して大きな被害をもたらしているが、その被害の多くは高齢者、障害者など、いわゆる「災害弱者」で占められている。

本事業は、災害時に自力で避難できるか不安を抱える障害者や一人暮らし高齢者等を「おねがい会員（要援護者）」、また、近隣住民や支援ボランティアを「まかせて会員（支援者）」として登録し、災害時における安否確認や避難誘導に加え、平常時の見守り活動を行うものである。災害はいつ起こるかわからないが、被災地での経験から、近隣・地域での助け合いが最も有効とされており、この事業は「地域の安全・安心は地域で守る」という地域力を結集した事業である。

### 2 具体的な取り組み

#### (1) 法吉地区防災訓練

目的 災害が起こった場合、地区住民が円滑に避難、対応できるよう訓練を行う。

概要 平成19年10月16日（火）午前8時25分、マグニチュード7の地震が発生、市内各所で住宅の倒壊による生き埋め、火災が発生していると想定し、次の二つの目的で訓練を行った。

- ① 「災害時における災害弱者支援」
  - ・ 「まかせて会員（支援者）」による「おねがい会員（要援護者）」の安否確認と、一部避難所までの誘導。
  - ・ 避難したおねがい会員への保健師による問診。
  - ・ 会場内訓練として、要援護者の搬送方法模擬訓練。
- ② 「法吉地区災害対策本部」運営模擬訓練
  - ・ 今年度立ち上げた「法吉地区災害対策本部」の、松江市防災安全課の指導による運営模擬訓練。
  - ・ 地区内で起こった災害を想定し、対応をシミュレーション。



(おねがい会員の避難誘導)



(地区災害対策本部の運営訓練)



(要援護者の搬送訓練)

(2) まかせて会員研修会

目的 まかせて会員を対象に、地域のなかで住民が主体となって福祉活動に取り組むために、専門家を招いて先進地の事例や本地区の取り組みについて理解を深める。

対象 まかせて会員、福祉関係者等80名

講師 桃山学院大学 准教授 松端克文氏

演題 おねがい／まかせて・・・「支援の輪」の形成と「地域力」の向上  
—小地域を基盤にした福祉活動の意義と課題—



(地域福祉の重要性を説く松端氏)



(熱心に聴講するまかせて会員)

### (3) 「防災マイマップ」の作成

平成18年度の防災訓練において自治会単位で作成した防災マップをベースに、法吉地区を五つのエリアに分類し、凡例を補充し、「防災マイマップ」として編集、印刷した。今後全世帯に配布し、各世帯で「おねがい会員宅」「まかせて会員宅」や避難経路等の必要事項を記入し、マイマップとして活用する。



(防災マイマップ)



(作成の様子)

### (4) 平常時の見守り活動

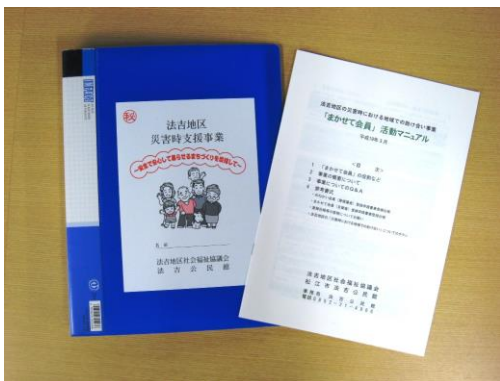
普段の近所付き合いの中での、「声かけ、見守り活動」の実施。



(日常の声かけ、見守り)

### (5) 定期的な見直しの実施

おねがい会員の施設への入所や死亡等による廃止、新規希望者の登録等による定期的な見直しを実施。まかせて会員についても同様に見直しを実施。



(登録台帳とまかせて会員活動マニュアル)



(登録のチラシ)